

シャローム

11月レポート



打ち破る者は、彼らの先頭に立って上って行き、
彼らは門を打ち破って進んで行き、そこを出て行く。
彼らの王は彼らの前を進み、主が彼らの真っ先に進まれる。

ミカ書2章13節

[石川県にあった長崎キリシタン殉教者の碑]についてのレポート

埼玉メンバー むぎ

石川県 卯辰山という場所に長崎キリスト教殉教者の碑というものがあります。
江戸から明治に変わろうとする時代、信仰を守り通し長崎県浦上村(長崎市の一部)から
連行された隠れキリシタン達の話です。



この村では4度キリシタン検挙事件が起きます。
1790年一番崩れ、1839年二番崩れ どちらも証拠不十分で釈放

1856年の三番崩れ
密告により指導者たちが捕まり、厳しい拷問と尋問を受け多くが牢で死亡

1859年 横浜・長崎・箱館（現在の函館）が開港し
外国人居留地ができ西洋文化が持ち込まれます。

1865年3月『信徒発見』
浦上村のキリシタンが大浦天主堂を訪れ、プティジャン神父に信仰を告白
迫害により日本信徒はいないと考えていたヨーロッパの人々に衝撃を与えます。
浦上キリシタンは指導者を得て、4つの秘密教会ができ教会行事を行うようになります。

1867年 江戸末期 浦上四番崩れ
村人達が寺請制度を拒否し、キリスト教葬儀をしたことが発端でした。

1867年7月
政府は秘密教会へ踏み込み、キリシタン達を捕縛。
諸外国はこれに抗議しますが、受け入れられず

1868年
浦上の四千人近いキリシタンが全国約20藩へと流配
一同、船以外は腰紐で数珠つなぎで歩きました。

1869年(明治2年)

金沢藩へ流配の114名の男子は船に乗り、岐阜のあたりまで移動
大雪の中を歩いて卯辰山の廃屋へ
卯辰山＝幕末に開発され娯楽施設・福祉施設などが立ち並んでいた山
信徒が収容される頃は廃屋になっていた。続いて410名も別の廃屋に収容

この頃キリシタンの扱いは、禁教令が発令当時ほどの惨状ではないものの
飢えや病気で103名の死者が出ています。
卯辰山のキリシタン達は祈る日々を過ごし、僧による転宗説得が開始
応じない指導者達は寒い中上着をはぎとられ、薄着で牢へ入れられました。

金沢藩がキリシタン達を人目を避け卯辰山へ隔離したのは、
町の人々への影響を考えてのこと。しかし高岡奉行として人々に慕われた
ナガオ ハチノモンという武士はキリシタン達を監督中に神を知り、
明治13年 洗礼を受け、北陸初のプロテスタントのクリスチャンになります。

1870年

大聖寺藩(石川県能見市)に送られた83名のキリシタンは大聖寺に収容
33名は富山に送られます

キリシタン達は寺に預けられ、兄弟のように厚遇されたり
家畜同然の扱いを受けたりしました。
7歳以下の幼児は母親と一緒にそれ以外のものは夫婦、親子は別々。
15歳～59歳の男子は境内から出ることは禁止。
鉄輪をかけられ奴隷のように酷使されます。食生活は、朝は粥 昼は味噌汁 夜は香の物。
7日に一度塩魚 月に一度の風呂

弾圧の中で転宗者は鉄輪がはずされ、また脱走した者もありました。
なかには身重の奥さんを案じ転宗、奥さんのもとへかけつけるも難産で母子は死亡。
のちに彼は改心しています。

1871年1月

横浜の英字新聞に卯辰山のキリシタンたちの様子が報道され
日本に住む外国人に大変な話題となります。

1871年

北陸の各藩を日本外務省と海外大使が視察
処遇改善されたキリシタン達はドジョウの蒲焼きを卯辰山のふもとで売り歩いたり、
手づくりのぞうりを買ったりできるようになりました。

1873年 2月 キリシタン禁制の高札が撤去

同年3月 北陸の浦上キリシタン釈放

明治政府は神道を国の宗教とし天皇中心の体制を立てる為に
キリスト教は邪魔と見なし、浦上の人々は最後のキリシタン弾圧の対象となったのです。
政府の高札を撤去した理由は、諸外国からの圧力、約250年にわたる幕府の徹底的な
キリシタン弾圧による偏見の払拭、改心させても信仰に戻るといったことでした。

1889年 大日本帝国憲法第28条信教の自由の規定

1947年5月3日 日本国憲法の施行により憲法第20条は信教の自由を保障

1998年 卯辰山トンネル工事の現場から身元不明の人骨40体が発見
骨は浦上キリシタンの一部という可能性が極めて高い

卯辰山の中にあった浦上キリシタンの碑は
昭和43年(1968年) カトリック金沢教会が後世に伝えるために建立。

資料と記念碑により歴史を探れる恵みを感謝します。
信仰を自由に持てることは、あたり前ではないことを噛み締めました。

ヨハネの福音書12章24節

まことに、まことに、あなたがたに告げます。
一粒の麦がもし地に落ちて死ななければ、それは一つのみままです。
しかし、もし死ねば、豊かな実を結びます。



隠れキリシタンレポート

花巻メンバー 幸子

イエス・キリストを信じる事は死を意味する時代
迫りくる迫害と脅威と苦しみに直面しながらも 命をかけて主への愛を貫いた人々の
物語が岩手県一関市藤沢町大籠にもあります。

大籠は江戸時代は仙台藩で伊達政宗の領地でした。
大籠の信仰共同体の始まりは、1558年頃の室町時代です。

大籠は鉄が取れる地域で、その資源を生かそうと
岡山から製鉄の技術者であるキリシタンの千松大八郎と小八郎という兄弟が招待され、
最先端技術である西洋式製鉄技術とともに、福音を伝えられました。

この地を支配していた仙台藩は、この信仰共同体が生み出す奇跡を目の当たりにし、
政府の禁教令の中にあっても、大籠地域には迫害の手を伸ばしませんでした。
ここでの本格的な迫害が起こるのは西日本に比べて20年遅れたために、大籠信仰共同体は
西から始まった迫害を避けて逃げてきたキリシタンたちを受け入れ保護しました。

禁教令が進み、島原の乱の翌年の1639年から約40年間に渡りにこの大籠の地で
309名のキリシタンが殉教したと記録が残っています。

大籠キリシタン殉教公園



資料館にある「地蔵の辻(ハリツケ)」の模型



処刑場となった地蔵の辻



大籠キリシタン殉教公園案内図



献金口座のご案内

ゆうちょ銀行
ATMからのお振込

ゆうちょ銀行

記号：14140

番号：45399951

エーエムアイジャパン

他銀行からの
ATMからのお振込

ゆうちょ銀行

店名 四一八支店

普通

口座番号 45399951

口座名

エーエムアイジャパン

クレジットカードでの
献金

PayPal

<http://paypal.me/aimjapan>



災害支援のご協力頂ける際のお願い

お振込みの場合 👉 振込人のお名前の前に「シエン」と入力をお願いします

PayPalの場合 👉 メッセージ欄に「シ」または「支」の入力をお願いします

サポーター献金へご協力頂ける際のお願い

お振込みの場合 👉 振込人のお名前の前に「リエ」と入力をお願いします

PayPalの場合 👉 メッセージ欄へ「牧師サポート」と入力をお願いします

皆様からの愛の献金いつもありがとうございます。